

# はしらざわ

第6号 令和三年三月一日発行  
発行 柱沢地域まちづくり振興会  
編集 総務企画部会  
問合先 柱沢地区交流館 電話五七五〇八六〇

## 一年を振り返って

柱沢地域まちづくり振興会長 菅野 政一

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大により、三密対策等、常に危機感を持って、生活をしていかなければなりません。当振興会も昨年の事業はほとんど中止、又は縮小で、振興会発足当時の目的を果たすことが出来ませんでした。

振興会としては柱沢小学校の周囲の草刈り清掃作業を各自治会役員の皆様をお願いして、伸び放題になった雑草を綺麗にしました。校長先生をはじめ、小学校の児童の皆さんから大変感謝されました。

専門部会で開催したのは健康福祉部会で行ったウォーキングで、高野地区にある蘆座山に行ってきたことでした。頂上に鎮座する金華山神社からの眺めは格別でした。高野自治会長の菅野勝司様には大変お世話様になり有難う御座いました。十年前は放射能に汚染され、今度はコロナ禍、早く穏やかな生活が出来るようになってもらいたいです。まもなく令和三年度の事業計画、役員改選の時期が来ます。計画通りに出来るように願うしかありません。

結びに、地域皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。



幼稚園7人の運動会



## 毘沙門天

所沢上自治会長 野田 昭

所沢安住内地内に毘沙門天が祀られています。毘沙門天は仏の世界で北方を守護する四天王の一人で、七福神の一人でもあります。戦争中は武運長久・商売繁盛・五穀豊穡の神として講中をもって大波村や霊山村等からお参りがあり大変賑わったそうです。毎年旧正月寅の日に初寅祭を行います。夜明け前高く積まれた木の根や枝（震災後は炭）に御神火によって点火され赤々とした灯が善男善女の幸福を祈ります。

令和二年二月二日の初寅祭に合わせて開催された御本尊（毘沙門天）の御開帳に、私は前氏子会長の立場から御開帳実行委員長として実施にかかわりました。約二百五十年前に移転して初めての一般公開に、福島や二本松などから仏像に関心を寄せる人達など、例年の二倍の参詣者で賑わいました。古代インドにおいては財福をもたらす神として信仰されていました。皆様もいつか初寅祭にお参り頂きたいと思えます。（参考 別当明福院資料）



毘沙門天祭礼



第四回紅屋峠千本桜写真コンテスト

総務企画部会長 石神 政一

新型コロナウイルス感染拡大で紅屋峠千本桜まつりは開催中止となりましたが、写真コンテストは三密にはならないとの判断で第四回紅屋峠千本桜写真コンテストは予定通り実施されました。参加者四十二名、九十三点の作品展と昨年の半分の参加者、出展数となりました。コロナ禍の中にもかわらぬ福島市、郡山市、国見町、川俣町などから素晴らしい作品のご応募いただきました。有難う御座いました。主な受賞者は次の通りです。

伊達市長賞

朝日に輝く 古関嘉典 様

写真コンテスト実行委員長賞

お花見 熊坂隆夫 様

柱沢地域まちづくり振興会長賞

薄暮 野田光弥 様

この他にも二十三点が受賞されました。選に漏れた方々の作品も素晴らしいものばかりでした。ご応募本当にありがとうございます。今年も五月に第五回紅屋峠千本桜写真コンテストを開催する予定ですが、コロナ感染拡大の推移を見て判断していきたいと考えております。今年度はコロナ禍の中で、各専門部で計画した活

動の殆どが実施出来ず悔やまれますが、早くコロナ禍の収束を願い、令和三年度は普通の日常に早く戻れる事を願うばかりです。



薄暮 (野田光弥)

お花見 (熊坂隆夫)

朝日に輝く (古関嘉典)

健康福祉部会の活動について

健康福祉部会長 橋本 憲三

令和二年は皆様にとつて大変な一年だったと思います。いろいろな行事が中止となりどこへも行けない一年でした。そんな中、健康福祉部会では役員会を開きウォーキングなら出来るんじゃないかと決めまして令和二年十月二十五日に藁座山へ、交流館八時三十分集合、九時出発、台集会所、滝の沢から藁座山へ天気も良かったので保原の町、吾妻の山がすくきれいにいることが出来ました。帰りは高野の土橋経由で帰ってきました。いつもなら皆さんで交流館の和室で昼食をとつてお話しをして解散でしたが、今回は交流館に着いたら皆さんに弁当と、お茶を渡して解散としました。皆様の、ご参加本当にありがとうございます。



目的地を目指して



金華山神社前で

柱沢文連協の活動について

柱沢地区文連協会長 柳沼 吉隆

昨年は新型コロナウイルス感染症拡大により三密対策など、新たな生活様式が求められました。この様な中、社会活動も制限され十一月に予定していた第三十五回柱沢地区文化祭は中止することになりました。地区皆様の心のこもった作品や、心む園児、児童の作品を見ることが出来なかつたことは本当に残念でした。文化活動はスポーツ活動と並び、心と体の健康を保つためには大変重要なこととされています。しかし柱沢文連協の活動団体は年々減少しているのが現状です。文化活動の維持継続のために、私たち文連協は今まで培ってきた知識、経験を生かして少しでも良い方向に進んで行くよう工夫していかなければならないと思っております。



高野から半田山を臨む

変革

地域づくり部会長 大河原 明

令和二年度は、コロナウイルスに振り回された一年で振興会まちづくりの部会の事業もほとんど中止に追いやられる事態となつてしまつた事は、大変残念でなりません。しかし、これも地区の住民の安全安心を考えると仕方ないことではないかと思ひます。地域住民のご理解をいただければ幸いです。

コロナウイルス問題は、今後も長く我々の生活の中に影響を与えることは間違いありません。当然生活スタイル及び各種団体の事業も変化していくことを求められているのではないのでしょうか。

自治会事業は様々な形があります。集まる年代人員並びに安全を考える。と今年度は事業を中止してまいりましたが今後は地域住民の安全を守りながら事業の推進を図るためには知恵を出し合つて新たな考え方で事業を作り上げていく必要があるのではないのでしょうか。どうか地域住民の皆様の貴重なご意見を今後も拝聴したく結びと致します。



稲刈 (もち米) 収穫

命を守るリハール

環境防災部会長 野田 昭

十年前の平成二十三年三月十一日午後二時四十六分十八秒マグニチュード九の東北地方太平洋沖地震が発生した。死者・行方不明者一万八千人超え、津波が発生し、東京電力福島第一原発放射能事故が起きた東日本大震災です。

令和元年には、十月六日に発生した台風十九号が十二日伊豆半島に上陸し、関東地方と福島県を縦断した。令和元年東日本台風です。県内外の多くの川が氾濫し、梁川に甚大な被害をもたらした。東根川・伝樋川も溢れる寸前となり、交流館に開設された避難所にも約五十名の方が避難し一夜を過ごした。翌日「川の流れる音が怖かつた」と話す声が震えていた。

このように災害は時間を問わず襲ってきます。対応する為には訓練の積み重ねが何より大切と考えます。令和二年度は新型コロナウイルスの影響を考え中止しましたが今後は皆様と共に訓練を続けたいと考えています。ご自分の「命を守るリハール」です。多くの方に参加・ご協力いただけることを切にお願い致します。



忠魂碑の奉仕作業



柱沢寿会の活動について

柱沢寿会連合会会長 清野 喜一

皆様、新年おめでとうございます。輝かしい新春を迎えられましたこと心よりお慶び申し上げます。昨年より新型コロナウイルス感染症が流行し、伊達市も感染者が発生し増えております。

柱沢寿会も、昨年六月に第一回寿学級を開催しました。第二回は奉仕作業を行いました。十月の研修旅行は、感染症が増えてまいりまして中止と開くことが出来ません。屋外では、グランドゴルフの練習、試合をしております。会員以外の方でも入会出来ますので、健康増進のため是非とも入会をお待ちしております。

これからも寒い日が続きますので、風邪やコロナウイルス感染症にかからないように、体を動かして自分の健康を守って下さい。



### 紅屋峠千本校の会今年度の活動

紅屋峠千本校の会会長 松浦 健

コロナ禍における今年度の活動は、四月第二日曜日に予定していましたが、紅屋峠千本校まつりは中止しましたが、交通安全協会、消防団の皆様にご協力をいただき、第一、第二週の土、日曜日に駐車場の誘導、整理、案内所の開設のみ行いました。

七月初旬には中央通路西側に、二千五百球の曼珠沙華球根植え付け作業を行って、十月初旬には以前からの植え付けけたものと相まって綺麗に咲きました、今後は春には桜、秋には曼珠沙華の花見が出来ることを願っています。



曼珠沙華植え

### コロナ禍で思ったこと

柱沢婦人会会長 大戸 ひで

令和二年は、コロナウイルス感染拡大防止の為に予定していた行事は、自粛というかたちで開催することが出来ませんでした。新しい生活様式を考へ婦人会役員で交流館掃除とプランターの花植えをしました。令和三年も続けて活動して行きたいと思います。

制限された活動をどの様にしていったら良いのか役員さんと相談し密にならないようにして「百円ショップの材料で出来るランプシェード作り」を開催することにしました。久しぶりの活動だったので多くの会員さんに参加して頂きました。苦勞しながら楽しそうに手を動かされていました。「楽しかった」と・・・早く普通に活動が出来る日が来るといいなあと思いい今までの当たり前が出来ていた事に感謝の気持ちになりました。

◆会員募集中です。連絡お待ちしております。◆



作業風景



ランプシェード完成

### はしらざわ暮らしの保健室

柱沢地区交流館 事務 鈴木

暮らしの保健室を開催して今年で三年目になります。令和二年度も四月より開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染で、七月より開催しました。参加者は少人数ですが、交流の場として活用して頂いていると思っております。これからも皆さんに、お役に立てるミニ講座内容を考え開催を継続して行きたいと思えます。



10/15 開催

ミニ講座内容  
相続の話を誰に相談したらよいか？

### 編集後記

広報誌【はしらざわ】第六号の発行に伴い、ご協力を頂いた役員並びに係者各位に感謝します。また昨年は春から新型コロナウイルス感染拡大により一部の活動のみに終わり、他の活動は中止になったことが残念でした。広報誌編集にあたり総務企画部の皆さんご苦勞様でした。  
渡辺 紀久雄



### プログラム

- 10:00～11:00 ミニ講和  
専門担当者をお迎えしてお話
- 11:00～12:00 コーヒータイム  
お茶を飲みながら歓談